

1 単元 大日本帝国の誕生

2 単元の目標

- (1) 開国，条約締結に至る急激な政治環境の変化の過程を理解させた上で，東アジアの国際環境の変化や幕藩体制の動揺と終焉について，考察させる。
- (2) 愛知エースネットのコンテンツにある「岩瀬忠震」を手掛かりに，ペリー来航を機に川路聖謨・岩瀬忠震・永井尚志ら幕府が人材の登用に努めたのを理解させる。

3 評価規準

- (1) 関心・意欲・態度
愛知県にゆかりのある「岩瀬忠震」について，愛知エースネットのコンテンツを利用して調べ，当時の緊迫した国際関係について関心をもつことができる。
- (2) 思考・判断
アロー号事件やインド大反乱などの当時の国際情勢に注目し，アジアへ進出する欧米列強の圧迫の中で，幕府がどのような立場に立たされていたという観点にも意識を広げることができる。
- (3) 技術・表現
日米修好通商条約の締結とその内容に注目し，アヘン戦争後に中国が締結した南京条約や天津条約との比較することができる。
- (4) 知識・理解
日米修好通商条約締結の課程とその内容を知り，幕末という時代の返還期への関心を高めることができる。

4 指導計画（9 時間）

学習項目	主な学習活動	時間	備考
異国船の接近と幕藩体制の動揺	① 商品生産の発展と農村の変質 ② 異国船の接近 ③ 天保の改革	2	
蘭学と国学の普及	① 蘭学の誕生 ② 国学の成立とひろがり ③ 社会批判思想の芽生え ④ 庶民教育と出版文化	1	
開国と社会の変動	① 開国 ② 政争の激化 ③ 開港と経済の変動	2	愛知エースネット「岩瀬忠震」を利用して，日米修好通商条約の特徴をとらえる。
尊皇攘夷から倒幕へ	① 公武合体と尊王攘夷 ② 薩長同盟 ③ 「世直し」と倒幕	2	
明治維新と新政府の成立	① 戊辰の内乱 ② 新政府の基本政策 ③ 中央集権化への道	2	

4 指導計画（5／9 時間）

過程	時間	学習内容	指導内容	指導上の留意点
導入	5	岩瀬忠震の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、日米修好通商条約の締結とその内容を中心に学習させることを確認させる。 ・生徒への発問「岩瀬忠震という人物を知っているか」 ・岩瀬忠震が愛知県にゆかりのある人物であることを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬忠震という人物を通して、「日米修好通商条約」締結の過程やその内容に関心をもたせる。 ＜関心・意欲・態度＞ ＜知識・理解＞
展開	40	愛知エースネットのコンテンツから、岩瀬忠震について調る。	<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬忠震について調べさせる。 ・井伊直弼の下で、日米修好通商条約を調印したことを説明し、条約の内容を確認させる。 神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港 神奈川港を開く後、六か月にして下田港の閉鎖 日本に完全自主権がない 欧米の領事裁判権を認める ・資料集の日米和親条約・日米修好通商条約と比較させ、違いを認識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条約調印前後の国際状況について考察させる。 ・天皇をはじめ、朝廷は欧米と条約を締結することに関してどのような立場であったかを理解させる。 ・なぜ、不平等条約に日本が調印したのかについて、考えさせる。 ＜関心・意欲・態度＞ ＜技能・表現＞
まとめ	5	まとめと予告	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめをする。 日米修好通商条約の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問により、本時のポイントを再確認させる。